

第二十七回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十五號

明治四十四年三月十一日(土曜日)

午前十時七分開議

議事日程 第十五號 明治四十四年三月十一日

午前十時開議

- 第一 明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(第四號) 會 議(委員長報告)
- 第二 明治四十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第四號) 會 議(委員長報告)
- 第三 鐵道又ハ船舶カ外國ノ鐵道又ハ船舶ト貨物ノ聯絡運輸ヲ爲ス場合ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 明治四十二年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第五 明治四十二年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第六 明治四十二年度特別會計豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第七 明治四十二年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第八 明治四十二年度韓國派遣部隊豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第九 在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第十 市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第十一 府縣立師範學校校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第十二 帝國學士院學術獎勵金特別會計法案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
- 第十三 會計檢查院法中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

貴族院議事速記錄第十五號 明治四十四年三月十一日 議長ノ報告

第十四 朝鮮總督府鐵道及通信官署ニ於テ取扱フ現金ノ出納ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第十五 明治四十年法律第四十八號中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第十六 明治四十年法律第四十九號中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第十七 日本勸業銀行法中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第十八 農工銀行法中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第十九 日本興業銀行法中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第二十 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第二十一 明治二十三年法律第三百三號廢止法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十二 水道條例中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十三 刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十四 輕便鐵道法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十五 鐵道敷設法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十六 森林法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十七 衆議院議員選舉法中改正法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十八 國有土地森林原野下辰申請期間ニ關スル法律案(衆議院提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔河井書記官朗讀〕 一昨九日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決

ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

帝國鐵道會計法中改正法律案

輕便鐵道補助法案

同日本院ニ於テ否決シタル左ノ衆議院提出案ハ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シタル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

朝鮮鐵道用品資金會計法案可決報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、此際諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、本院議員絲原武太郎君昨日長逝セラレタ趣デゴザイマス、本院ヨリ弔辭ヲ贈リマシテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第一、明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案、第四號、第二、明治四十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案、特第四號、會議、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

一明治四十三年度歳入歳出總豫算追加案(第四號)

一明治四十三年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第四號)

右衆議院ヨリ送付シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月九日

豫算委員長

子爵 曾我 祐準

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 唯今御宣告ニナリマシタ兩案ヲ連ネテ御報告イタシマス、先ヅ總豫算追加ノ方カラ申述ベマス、本案ハ一昨九日ニ付託ニナリマシタ案デアリマスガ、即日、委員會ヲ開キマシテ、サウシテ一般ノ説明ヲ聞終リマシタ上デ、分科ニ付スルヤ否ヤト云フコトヲ協議イタシマシタガ、事ハ簡單デアリ、時日ハ少イ此際デアリマスニ依ッテ、直チニ總委員會ニ於テ議スルト云フコトニ相成リマシタ、本案ハ歳出入共ニ七百九十七萬餘圓デアリマスガ、歳入ハ貨幣整理資金繰入、歳出ハ外務、大藏、内務ニ係ッテ居リマス、經常トシテハ外務省ノ電信料、大藏省ノ預金利子及手數料、是ハ至ッテ少額デアリマス、臨時ニ於テハ内務省デ營繕費、是ハ「ベスト」ノ血清用ノ大ナル牛ヲ入レル小屋デヤサウデゴザイマス、左様ナ説明デアリマシタガ、金額ハ左

程大キクハアリマセス、一万三千圓クラキデアリマス、一番金高ノハ大藏省

デ、國債整理資金繰入七百六十萬圓デアリマス、是ハ舊韓國ノ債務ニ屬スルノデアリマスガ、貨幣整理基金ノ返債及之ニ伴フ所ノ利子デアリマス、特第四號、此案ハ、其一ハ前案ト全ク同一事件デアリマシテ、即チ七百六十萬圓ト云フモノハ舊韓國債務デ、一般會計ヲ潛ラス手數ノ爲ニ茲ニ現ハレタノデアリマス、他ノ一半ハ韓國京城ニ於テノ水道買收費デ、是ガ二百九十二萬圓デアリマス、是ハ總督府ノ臨時歳出入ニナルノデアリマス、而シテ是ハ彼ノ事業公債ノ五千六百萬圓ノ中デハアリマセス、其外デアリマス、兩案トモ少シク質問ハアリマシタガ、右ノヤウナ簡單ナモノデアリマスニ依ッテ、別段イシタ質問モ無ク、勿論議論モ無ク、兩案共ニ何等不都合ナイト認メマシテ、委員會ニ於テハ可決スベキモノト致シマシタ、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 諸君ニ於テ御異議ガ無クレバ唯今、豫算委員長ノ報告セラレマシタ兩案トモ全部ヲ問題ニ供シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 全部、豫算委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○桑田熊藏君 此際、議場ノ許可ヲ得マシテ、工場法ニ關スル特別委員會ヲ開キタウゴザイマス、特別委員諸君ノ御退場ヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 桑田君ノ特別委員會へ退席ノ要求ハ許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第三、鐵道又ハ船舶ガ外國ノ鐵道又ハ船舶ト貨物ノ聯絡運輸ヲ爲ス場合ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會

〔東久世書記官朗讀〕

鐵道又ハ船舶カ外國ノ鐵道又ハ船舶ト貨物ノ聯絡運輸ヲ爲ス場合ニ關スル法律案

右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治四十四年三月九日

内閣總理大臣侯爵桂 太郎

外務大臣伯爵小村 壽太郎

逓信大臣男爵後藤 新平

司法大臣子爵岡部 長職

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

鐵道又ハ船舶カ外國ノ鐵道又ハ船舶ト貨物ノ聯絡運輸ヲ爲ス場合ニ

關スル法律案

鐵道又ハ船舶カ外國ノ鐵道又ハ船舶ト貨物ノ聯絡運輸ヲ爲ス場合ニ於テハ

勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

〔政府委員平井晴二郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(平井晴二郎君) 唯今朗讀サレマシタ所ノ法律案ハ、昨年日本ノ鐵道、南滿洲鐵道、ソレカラ西伯利亞鐵道ヲ經マシテ歐洲トノ貨物ヲ聯絡ノ會議ヲ露都ニ開カレマシタ際ニ於テ、此聯絡ニ關スル契約ヲ結ブニ際シ日本ノ現行商法、民法竝ニ民事訴訟法ニ牴觸スル廉ガアリマスルノデゴザイマシテ、是等ノ諸點ニ關シテハ勅令ヲ以テ別ニ決メラレルヤウニ致シタイト云フ案デゴザイマス、既ニ日露滿等ノ旅客運輸ハ本月ノ一日カラ聯絡運輸ヲ開始シテ居ルノデゴザイマスガ、此貨物聯絡ニ付キマシテハ唯今申述ベマシタ通り御協贊ヲ經マシテ取除ケノ法ヲ設ケヌ以上ハ之ヲ實施スルコトガ出來ナイ次第デゴザイマスカラ、ドウゾ御審議ノ上ニ速ニ御協贊アラムコトヲ希望イタシマス、委シクハ委員會ニ於テ申述ベタイト考ヘテ居リマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質問モ無イト認メマスカラ、次ノ議事日程ニ移リマス

ル件、衆議院送付、會議

〔東久世書記官朗讀〕

明治四十二年豫備金支出ノ件

明治四十二年豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

明治四十二年特別會計豫備金支出ノ件

明治四十二年特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

明治四十二年韓國派遣部隊豫備費支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年三月九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

○議長(公爵德川家達君) 此第四ヨリ第八マデノ承諾ヲ求ムル件ノ案ハ同一委員デ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第九、在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第十、市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第十一、府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔東久世書記官朗讀〕

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年三月九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中左ノ通改正ス

第六條中「公立幼稚園」ヲ「師範學校附屬幼稚園又ハ公立幼稚園」ニ改ム

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第四、明治四十二年豫備金支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、第五、明治四十二年豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、第六、明治四十二年特別會計豫備金支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、第七、明治四十二年特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、第八、明治四十二年韓國派遣部隊豫備費支出ノ件、承諾ヲ求ム

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治四十四年三月九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中左ノ通改正ス

第二條中「廢校」ヲ「廢職廢校」ニ改ム

府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年三月九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

法律案

府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中左ノ通改正ス

第二條、第十條、第十二條、第十四條及第十六條中「正教員」ノ下ニ「小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル保母」ヲ加フ

〔政府委員岡田良平君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡田良平君) 唯今議題ニナツテ居リマス三案ハ何レモ簡單ナ法律案デゴザイマスガ、順序ハ少シ顛倒イタシマスガ、此府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、之ヲ第一ニ御覽ヲ願ヒタイノデゴザイマス、是ハ「正教員」ノ下ニ「小學校ノ本科正教員タルヘキ資格ヲ有スル保母ヲ加フ」ト云フノデアリマシテ、是マデ公立幼稚園ノ保母ハ恩給ヲ受クルコトガ出來ルヤウニナツテ居ルノデゴザイマス、然ルトコロ師範學校ニモ幼稚園ヲ設ケラレテ之ニ保母ガアリマスケレドモ、從來ハ此保母ハ官制ニ認メラレテ居リマセナシガ爲ニ、從ッテ退隱料、遺族扶助料ヲ受クルコトガ出來ナカツタノデアリマス、然ルニ昨年カラ保母ハ師範學校

職員トシテ加ヘラル、コトニナリマシタ爲ニ、其結果トシテ退隱料、遺族扶助料ノ方モ支給スル必要ガアルノデアリマス、ソレ故ニ此改正案ヲ提出ニナリマシタ次第デアリマス、次ニ在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案ヲ御覽ヲ願ヒタイノデアリマス、是ハ御承知ノ通り外國ニ在リマス所ノ學校デ、民團等ノ設立ニ係ッテ居リマスモノハ外務文部兩大臣ノ指定ヲ得マシテ特別ノ取扱ヲ受ケルコトニナツテ居ルノデアリマス、即チソレ等ノ學校ノ職員ハ内地ノ小學校ノ職員ト同ジヤウニ、退隱料、遺族扶助料ヲ受クルコトニナツテ居ルノデゴザイマス、ソレデ前ニ申シマシタ内地ノ師範學校附屬ノ幼稚園ノ保母ト云フモノヲ置カレマシテ、之ニ退隱料、遺族扶助料ヲ給スルコトニナリマシタ結果トシテ、在外指定學校ノ法律ニモ改正ヲ加ヘテ在外指定學校ニ於テ在職年數ノ通算ヲ致シマストキニ内地ノ師範學校附屬幼稚園ニ在職シタ年數モ通算スルト云フノガ當然デアリマスカラ、此改正ヲ要スルノデアリマス、次ハ市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、是ハ簡單ニ「廢校」ヲ「廢職廢校」ニ改ムルト云フコトデアリマス、是ハ從來、市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ於キマシテ、廢校ノ爲ニ退職シタ者ニハ十五年以上ノ在職者ハ、ソレノ退隱料及遺族扶助料ヲ支給スル規定ニナツテ居リマス、然ルニ廢職ノ場合ニ付イテハ何モ規定ガゴザイマセヌ、其規定シテナカッタ趣意ハ學校教員ニハ廢職ノ場合ハ從前ハ無カッタノデゴザイマス、然ルトコロ市町村立小學校教員ニシテ在職ノマ、外國政府ノ聘用ニ應ジマシテ外國ヘ赴任イタシマシタ者ガ、外國政府ノ雇ヲ解カレタトキニハ廢職トナルノデゴザイマス、然ルニ廢職ニナリマシテモ法律ノ規定ガゴザイマセヌ爲ニ、斯カル教員ハ退隱料及遺族扶助料ヲ受ケルコトガ出來ヌト云フ結果ニナリマスガ故ニ、今回「廢校」ノ上ニ「廢職」ト云フ字ヲ加ヘヤウト致スノガ此改正ノ趣旨デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 唯今、文部次官ノ説明セラレマシタ三案トモ同一委員ニ付託シテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十二、帝國學士院學術獎勵金特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔東久世書記官朗讀〕

帝國學士院學術獎勵金特別會計法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年三月九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

帝國學士院學術獎勵金特別會計法

第一條 學術研究獎勵ノ爲帝國學士院學術獎勵金特別會計ヲ設置ス

第二條 本會計ハ帝室下賜金、寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ其ノ歳入トシ學術研究獎勵ノ爲ニ要スル支出ヲ以テ其ノ歳出トス

第三條 本會計ハ學術研究獎勵ノ爲有價證券ノ寄附ヲ受ケ之ヲ保有スルトヲ得

第四條 本會計ニ於テ支拂上餘裕アルトキハ之ヲ預金部ニ寄託スルトヲ得

第五條 政府ハ毎年本會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

第六條 學術研究獎勵ノ爲ニ支出スル金額ハ帝國學士院長ニ交付シ經理ヲ委任スルトヲ得

第七條 委任經理ニ係ル會計ノ検査ハ會計検査院法第十六條ノ規定ニ依ル

第八條 本會計ノ收入支出ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法ハ明治四十四年度ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員岡田良平君演壇ニ登ル〕

○政府委員(岡田良平君) 帝國學士院學術獎勵金特別會計法案、是ハ昨年、

帝室ヨリ學術研究獎勵ノ目的ヲ以テマシテ學士院ヘ十箇年間毎年二千圓ヲ、

御下賜ノ御沙汰ヲ蒙リマシタノデゴザイマス、此御下賜金ヲ基礎ト致シマシ

テ、之ニ有志者ノ寄附金等ヲ加ヘテ別途ノ會計ニ致シマシテ學術研究獎勵ノ

目的ニ使用シタイト云フノデ、此特別會計法ヲ要スルノデゴザイマス、委シ

イコトハ特別委員會ノ場合ニ於テ陳述イタスコトニ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十三、會計検査院法中改正法律案、政

府提出、衆議院送付、第一讀會

會計検査院法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年三月九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

會計検査院法中改正法律案

第二條中「十四員」ヲ「十八員」ニ改ム

附則

本法ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

府提出、衆議院送付、第一讀會

〔宮田書記官朗讀〕

會計検査院法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年三月九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

會計検査院法中改正法律案

第二條中「十四員」ヲ「十八員」ニ改ム

附則

本法ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員安廣伴一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(安廣伴一郎君) 今回、朝鮮總督府ガ設置ニナリマシタ爲ニ、檢

査院ノ事務ガ増加イタシマスニ付キマシテ、副検査官四名ヲ増スト云フ案デ

ゴザイマス、御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十四、朝鮮總督府鐵道及通信官署ニ於

テ取扱フ現金ノ出納ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔宮田書記官朗讀〕

朝鮮總督府鐵道及通信官署ニ於テ取扱フ現金ノ出納ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年三月九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

朝鮮總督府鐵道及通信官署ニ於テ取扱フ現金ノ出納ニ關スル法律案

朝鮮總督府鐵道、郵便、電信、電話官署ニ於テ取扱フ現金ノ出納ニ關スル

事務ハ當該官署ノ事務員ヲシテ之ヲ分掌セシムルトヲ得

前項ノ事務員ニ對シテハ會計法第九章ニ定ムル出納官吏ニ關スル規定ヲ準

用ス

附則

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十三、會計検査院法中改正法律案、政

府提出、衆議院送付、第一讀會

會計検査院法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年三月九日

衆議院議長 長谷場純孝

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員安廣伴一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(安廣伴一郎君) 朝鮮總督府ノ鐵道及郵便等ノ官署ニ於キマシテ現金ノ出納ヲ取扱ヒマスルノニ定員配置上、官吏ノミヲ以テ其事務ニ當ラシメルノハ困難デゴザイマスカラ、事務員ヲシテ假ニ其事務ニ當ラセルト云フ案デゴザイマス、御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十五、明治四十年法律第四十八號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第十六、明治四十年法律第四十九號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔宮田書記官朗讀〕

明治四十年法律第四十八號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年三月九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治四十年法律第四十八號中改正法律案

明治四十年法律第四十八號中「統監府」ヲ「朝鮮總督府」ニ「判任」ヲ「内地人タル判任」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ本法施行前退官シタル者ニモ之ヲ適用ス

統監府及其ノ所屬官署並鐵道院韓國鐵道管理局及朝鮮鐵道管理局ニ於ケル在職ハ朝鮮總督府及其ノ所屬官署ニ於ケル在職ト看做ス

明治四十年法律第四十九號中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年三月九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治四十年法律第四十九號中改正法律案

明治四十年法律第四十九號中「統監府」ヲ「朝鮮總督府」ニ、「巡查」ヲ「内地人タル○警部補巡查」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○退官又ハ
本法ハ本法施行前退職シタル者ニモ之ヲ適用ス

統監府及其ノ所屬官署ニ於ケル在職ハ朝鮮總督府及其ノ所屬官署ニ於ケル在職ト看做ス

〔政府委員安廣伴一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(安廣伴一郎君) 四十年ノ第四十八號ト云フ法律ハ朝鮮總督府等ニ勤メテ居リマス所ノ官吏ニ關シマスル恩給ノ通算方デゴザイマス、ソレカラ其ノ次ノ第四十九號ノ方ハ朝鮮ニ勤メテ居リマス巡查其他ニ關シマスル所ノ恩給及遺族扶助料ノ計算ノ仕方デゴザイマスガ、今回統監府ヲ朝鮮總督府ト改正ニナリマシタ爲ニ此改正ヲ要スル次第デゴザイマス、其他ハ單ニ「内地人」ト云フ字ヲ加ヘマシテ朝鮮人タル官吏及巡查等ニハ此恩典ヲ及ボサナイノデゴザイマス、ソレカラ衆議院ノ方ニ於テ此第二ノ案ニ付イテ修正ガゴザイマシテ「警部補」ト云フ三字ガ加ハリマシタガ、是ハ加ハリマシタ方ガ宜シイノデアリマスカラ、政府ニ於テ同意イタシテ居リマス、是モ同様御贊成アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 以上ノ三案ハ同一委員ニ付託シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十七、日本勸業銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第十八、農工銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第十九、日本興業銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第二十、北海道拓殖銀行法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

〔東久世書記官朗讀〕

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場純孝

日本勸業銀行法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年三月九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

日本勸業銀行法中改正法律案

日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

第一條 日本勸業銀行ハ株式會社トシ其ノ本店ヲ東京ニ置ク

第十四條ノ二 工場財團及工場ニ屬スル敷地又ハ建物ヲ除クノ外市制施行地及勅令ヲ以テ指定スル市街地ニ存在スル宅地又ハ建物ヲ抵當トスル貸付金額ハ拂込資本金額及勸業債券發行額ノ二分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス

第十五條第三項ヲ左ノ如ク改ム
産業組合、漁業組合、森林組合又ハ其ノ聯合會ニハ抵當ヲ徵セスシテ定期償還貸付若ハ年賦償還貸付ヲ爲スコトヲ得

第二十條 削除

第四十一條 勸業債券ノ模造ニ關シテハ通貨及證券模造取締法ヲ準用ス

第四十二條 削除

第五十條中「貸付」ノ下ニ「割引」ヲ加フ

第五十六條第一號中「第十四條」ノ下ニ「又ハ第十四條ノ二」ヲ加フ

第五十八條 削除

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

農工銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年三月九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

農工銀行法中改正法律案

農工銀行法中左ノ通改正ス

第一條 農工銀行ハ株式會社ニシテ其ノ資本金ヲ二十萬圓以上トシ各株式ノ金額ハ二十圓トス

第四條 削除
○中「原籍及」及「原籍又ハ」ヲ削ル

第六條ノ二 工場財團及工場ニ屬スル敷地又ハ建物ヲ除クノ外市制施行地及勅令ヲ以テ指定スル市街地ニ存在スル宅地又ハ建物ヲ抵當トスル貸付

金額ハ拂込資本金額及農工債券發行額ノ三分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス

第七條 前條ノ貸付ハ勅令ヲ以テ指定スル地方ニ限り拂込資本金額及農工債券發行額ノ三分ノ二迄之ヲ増加スルコトヲ得

第七條ノ一ヲ削ル
第七條ノ三 産業組合、漁業組合、森林組合又ハ其ノ聯合會ニハ無抵當ニテ第六條第一號又ハ第二號ノ貸付ヲ爲スコトヲ得

第十二條 削除

第二十一條 削除

第三十二條 農工債券ノ模造ニ關シテハ通貨及證券模造取締法ヲ準用ス

第三十三條 削除

第四十六條第一號中「第六條」ノ下ニ「第六條ノ二及第七條」ヲ加フ

第四十七條 削除

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

日本勸業銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年三月九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

日本勸業銀行法中改正法律案

日本勸業銀行法中左ノ通改正ス

第九條第二項ヲ削ル

第九條ノ二 日本興業銀行ハ ○工場ニ屬スル敷地又ハ建物並ニ市制施行地及勅令ヲ以テ指定スル市街地ニ存在スル宅地又ハ建物

スコトヲ得但シ其ノ貸付金總額ハ拂込資本金額ノ二分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス

第十條中「及社債券」ヲ「社債券、株券及地金銀」ニ改ム

第十二條中「社債券」ノ下ニ「株券、地金銀」ヲ加フ

第二十七條第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加ヘ第二號ヲ第三號、第三號ヲ第四號トス

二 第九條ノ二但書ノ規定ニ反シ貸付ヲ爲シタルトキ

北海道拓殖銀行法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十四年三月九日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

北海道拓殖銀行法中改正法律案

北海道拓殖銀行法中左ノ通改正ス

第一條中「北海道ノ拓殖事業」ヲ「北海道及樺太ノ拓殖事業」ニ改ム

第七條第一項第三號、第四號、第二項及第三項中「北海道」ノ下ニ「樺太」ヲ加フ

第八條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

耕地整理法ニ依リ耕地整理ヲ施行スル場合ニ於テ耕地整理組合ヨリ借用ヲ申出テタルトキ又ハ共同施行者方連帶責任ヲ以テ借用ヲ申出テタルトキハ年賦若ハ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得

同條第三項ヲ左ノ如ク改ム

産業組合、漁業組合、森林組合又ハ其ノ聯合會ニハ年賦若ハ定期償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲ爲スコトヲ得

第八條ノ二 北海道拓殖銀行ハ前二條ニ依ルノ外預リ金ヲ以テ國債證券又

ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル有價證券ヲ擔保トスル手形ノ割引又ハ短期貸付ヲ爲スコトヲ得但シ其ノ金額ハ第七條第一項第一號及第二號ニ依ル

貸付金總額ノ二分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス

第十條ニ左ノ但書ヲ加フ
但シ樺太ニ於テ營業ム業務ニ付主務大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條ニ左ノ一號ヲ加ヘ第一號ヲ第二號トシ以下順次繰下ク

一 第七條第四項及第八條ノ二但書ノ規定ニ違反シタルトキ
第二十九條 北海道拓殖銀行ノ發行スル債券ノ模造ニ關シテハ通貨及證券模造取締法ヲ準用ス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 日本勸業銀行法中改正法律案、竝ニ農工銀行法中改正法律案、此第一條ノ改正ガ重ナル點デアリマシテ、其他ノ改正ハ現行法ノ不備ナ點ヲ直シマシタリ、或ハ他ノ法律ガ出來タ爲ニ自ラ現行法中其規定ヲ廢メテ宜シイモノヲ削除スルト云フヤウナ箇條ガ往々ゴザイマシテ、重ナル改正ハ第一條ノ改正デアアルノデアリマス、其第一條ノ改正ハドウ云フコトデアアルカト申シマス、兩銀行法トモ現行法ニ於テハ農工業及水産業ノ改良發達ニノミ此銀行ノ貸付ガ出來ル、其銀行ノ貸付ハ即チ不動産抵當ノ貸付ヲスルコトデアリマス、其不動産抵當ガ唯今申上ゲタ業務ノミノ爲ニ出來ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、之ヲ此度改正シテ目的ノ如何ニ拘ラズ不動産抵當デ貸付ガ出來ルヤウニスルノガ今回ノ改正案デアリマス、現行法ニ依リマス、唯今申上ゲタ業務ノ目的ガ限ッテデアリマス故ニ、此目的以外ノコト、例ヘバ森林等ヲ經營スルコトガデアリマシテモ、サウ云フコトノ爲ニ貸付ヲスルコトハ出來ヌ、又農民其他ノ者ノ舊債償還ヲシテ低利ニ借換ヲスル爲ニ此銀行カラ借入ヲシヤウト云ウテモ、サウ云フコトハ出來マセヌ、又公共團體等ニ貸付ケルモノデモ、其公共團體ノ致シマス事業ガ、或ハ學校ヲ建テルトカ道路ヲ築造スルト云フヤウナモノデアルト、此法律ノ制限ニ依ッテ貸付ヲスルコトハ出來ヌト云フヤウナ工合ニ、段々澤山ノ制限ヲ茲ニ設ケテデアリマス爲ニ、行フベキモノガ行ハレヌデ居ルト云フノガ現行法ノ規定デアリマス、御承知ノ如ク不動産ナルモノハ是ハドコノ國ニ於テモ財產ノ大部ヲ成シテ居ッテ、財產中ノ重要ナ部分デアリマス、故ニ此不動産ト云フモノヲ働カシテ之ヲ擔保ニシテ資金ノ融通ヲスルト云フコトニ致シマシタナラバ、經濟上非常ナ便益ヲ得ル譯デアリマシテ、各國トモ此不動産ニ對シテ金融ヲ

〔副議長侯爵黒田長成君議長席ニ著ク〕

付ケルト云フコトハ皆其事ガ實行サレテ居ルノデアリマス

不動産抵當銀行ト云フモノガ經濟上多大ニ進歩シテ居リマス國、殊ニ歐羅巴ノ大陸諸國ノ如キハ皆各、其機關ヲ以テ十分此不動産ヲ働カスルコトニシテ居ルノデアリマスガ、我國ニ於テハ唯今申上ゲマシタ如ク不動産抵當ノ規定ガアツテ農工銀行、勸業銀行共ニ其機關デアリマスケレドモ、併ナガラ制限ノアル爲ニ全部働イテ居ナイ、殊ニ農民ノ今日非常ナ高利ノ負債ニ苦ンデ居ルト云フヤウナ者ニ向ツテ低利借換ヲシテ其負擔ヲ減ズルト云フコトハ唯今ノ法規デハ全ク出來ナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、大體此財產、殊ニ土地ノ分配ガ能ク行ハレテ居ルト云フコトハ社會狀態ノ極ク健全ナル有様デアルト申上ゲナケレバナリマセヌノガ、段々は兼併ニ依ツテ一方ニ於テ大地主ノ私有地ガ段々殖エテ行キ、一方ニハ土地ヲ持タナイ小作人ガ多數ニナルト云フコトニナリマスト云フト、是ハ社會狀態トシテ甚ダ面白クナイ現象デアラウト思ヒマス、然ルニ今日ノ如ク多數ノ農民ガ高利ノ負債ニ苦ンデ居ルヤウナコトデアリマスケレバ、負債ノ利息ニ追ハレテ到底、元金ノ償還ガ出來スト云フヤウナコトニナリマスト云フト、自然土地ヲ手放シテ、其土地ハ大地主ノ方ニ歸シテ行キ、自分ハ土地ノ無イ小作人ニナル外ナイト云フ狀態ニナル傾向ガアルデアラウト思ヒマス、幸ニ今日ハソレマデノ傾向ガ生ジテ居ルトハ認メマセヌケレドモ、併ナガラ今日ノ狀態ニ於テ放置シテ之ニ對スル金融ノ機關ヲ設ケナイト云フコトガアリマシタナラバ、長イ間ニハ唯今申上ゲルヤウナ不健全ナ狀態ヲ呈スルヤウニ傾カストモ限ラヌノデアリマス、然ルニ先キホド申上ゲマシタル如ク現行法ニ於テハ此點ガ關ケテ居リマス故ニ、然ラバ新ニ不動産銀行ナルモノヲ造ツテ此必要ニ應ジヤウカ、是モ一ツノ方法デアリマスガ、既ニ一ツノ銀行ガ出來テ居ツテ不動産抵當ノ爲ニ現ニ働イテ居ル、唯制限ガアルケレドモ既ニ働イテ居ル以上ハ、更ニ之ト同ジヤウナ仕事ヲサセル特設銀行ヲ新ニ法律ヲ以テ設ケルコトニ致スヨリモ、現在ノ機關ト云フモノヲ利用シテ、唯今申上ゲルヤウナ關ケテ居ル所ヲ補ハシメル方ガ相當デアアル、斯ウ云フノデ此第一條ノ規定ヲ設ケルヤウニ至ツタ次第デアリマス、併シ若シ斯ウ云フヤウニ第一條ヲ改正イタシマシタ結果トシテ、是マデ農工業ニ資本ノ注ガレテ居ル方ノ資金ガ少クナルト云フヤウナコトガアリマシテハ、是ハ宜シクナイノデアリマシテ、政府ハ第一條ヲ改正

イタシマシタケレドモ、併ナガラ農工業資金ヲ供給スルト云フコトノ必要ナルコトハドモ減ジテハナラナイト云フ考ヘテ持ツテ居リマス、故ニソコデ勸業銀行法中ノ改正案ニハ第十四條ノ二ト云フ條項ヲ設ケ、農工銀行法中改正案ニ於テハ第六條ノ二ト云フ條項ヲ設ケマシテ、擔保ヲ取リマス場合ニ市街ニ在ル土地ヲ擔保ニ取ルニハ自由ニ取ルコトハ出來ヌ、拂込資本、並ニ債券ノ發行額ノ勸業銀行ニ在ツテハ二分ノ一以上ヲ取ルコトハ出來ヌ、農工銀行ニ在ツテハ政府ノ原案デハ三分ノ一以上ヲ取ルコトハ出來ヌ、斯様ニ致シテ便利ノ方ノ金融ヲ付ケテ農工業ノ資金ノ方ヘ行ク方ガ少クナルヤウニナツテハイケマセヌ、故ニ法律ノ表ニ於テ自然ニ他ニ餘計流レ込マヌヤウナ制限ヲ設ケル手段ヲ採リマシタノデアリマス、此外ニ御承知ノ通り預金部ノ貯金ト云フモノモ追々地方ノ産業資金ニ融通ヲシテ行ク、或ハ唯今申上ゲマス農工業等ノ資金ニ融通スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、是等ノ資金ヲ政府ガ勸業銀行農工銀行ヲ通ジテ地方ニ散布イタシマスル場合ニ於テハ、各、其使途ヲ決メテ融通ヲスル考ヘデアリマス故ニ、此方ノ資金ハ從來第一條ニ於テ定マツテ居ルヤウナ目的、若クハ唯今申上ゲル此農民ノ高利ノ負債ヲ低利借換ヲスルト云フヤウナコト、又ハ公共團體ノ事業トカ云フヤウナ、大體此資金ハ從前此法律ニアリマシタ所、竝ニ今日最モ改正ヲ必要トスルヤウナモノ、方ヘ行クヤウニ致シマシテ、商業資金等ノ方ヘハ融通サセヌヤウニ、是ハ行政上ノ手段ニ於テ實行シテ行ク考ヘデアリマス、此第一條ノ改正ニ付イテハ或ハ改正ノ結果トシテ勸業銀行、農工銀行ガ普通銀行ノ業務ヲ侵蝕スル虞レハ無イカト云フ心配モ無イデモナイヤウデアリマスガ、政府ノ見ル所デハ其心配ハ全ク無イモノト認メテ居リマス、何トナレバ普通銀行ノ資金ナルモノハ重モニ預金カラ成立ツテ居リマスノデ、此預金ナルモノヲ不動産ノ如キモノニ固定シテ貸付ヲスルト云フコトハ、是ハ銀行ノ經營トシテハ宜シイ方針ト云フコトハ出來マセヌノデ、是等ノ金ハ其資金其モノ、性質トシテ自ラ不動産等ニ固定シテハナラナイノデアリマス、即チ普通銀行ニ行クコトヲ宜シイトセナイ所ノ方面ニ向ツテ、此農工銀行、或ハ勸業銀行ノ資金ヲ供給シテ行カウト云フノデアリマスカラ、是ハ相俟ツテ經濟社會ノ融通ヲ付ケテ行クコトデアツテ、決シテ互ニ相反駁スルモノデナイト云フコトハ、確ニ申上ゲテ置イテ宜シイト思フノデアリマス、此改正ニ對シテ衆議院ノ方デ勸

業銀行法、竝ニ農工銀行法ノ中ノ産業組合ノ所ノ修正ガ這入ッテ居リマス、竝ニ森林組合ノ所ノ修正ガ這入ッテ居リマス、是ハ今日ノ現今行ハレテ居リマス所デモ聯合組合ハ這入ッテ居リマス、産業組合ハ其個々ノ産業組合ニハ貸付ヲ爲スコトガ出來ナイデ聯合組合ニ貸付ケテモ聯合組合カラ其下ニ在ル産業組合ヘ分配シテ貸付ケルト云フ仕組ヲ取ッテアリマス、トコロガ聯合組合ヘ這入ッテ居ル産業組合ガ幾ツモノ、例ヘバ購買組合トカ、販賣組合トカ、信用組合トカ云フ組合ガアリマシテ、其幾ツモ兼テ居ル場合ニ於テ或ル一ツノモノニ付イテ聯合組合ヘ這入ッテ居リマス、他ノモノニ付イテハ勸業銀行若クハ農工銀行カラ資金ノ融通ヲ受ケルコトガ出來ヌト云フヤウナノガ現行法ノ規定デアリマス故ニ、是ハ折角産業資金ノ供給ノ爲ニ是等ノ銀行カラ産業組合ニ貸付ヲスル途ガ開イテアルニモ拘ラズ、此組合ガ其資金ノ融通ヲ受ケルコトノ出來ヌノハ宜シクナイト云フノデ、衆議院ハ此改正ヲ加ヘラレタノデアリマスノデ、竝ニ此森林組合ト云フモノニ付イテハ、現行法ハ之ニ貸付ケルト云フコトヲ認メテ居リマセヌケレドモ、森林組合モ又森林業者ガ共同シテ經營スルニアラザレバ十分經營ガ出來ナイト云フヤウナ森林ヲ共同シテ經營イタシマス場合ニ森林組合ヲ作ルノデアルカラ、斯ノ如キ組合ニ對シテノ金融ト云フモノハ是ハ付ケテヤルノガ宜イト云フ修正デアリマス故ニ、此衆議院ノ修正ハ全然、政府ニ於テモ同意ヲ表シテ居ル次第デアリマス、尙ホ衆議院ハ此農工銀行法ニ於キマシテ政府ノ原案ニ對シテ唯今申上ゲマシタ此市街地等ヲ擔保ニ取ル割合ヲ政府ノ原案ハ拂込資本、竝ニ社債發行額ノ三分ノ一ヲ制限トシテ居リマシタノヲバ、四分ノ一ノ制限ニ……之ヲ制限ヲ嚴重ニ致シタノデアリマス、是ハ先キホドモ申上ゲマシタ如ク成ルベク此資金ガ農工業等ノ方ヘ行ッテ商業ノ方ヘ行カシメナイニハ此制限ヲ設クル必要ガアルノデアリマス、其制限ヲ嚴重ニ致セバ致スホド農工業ノ方ヘ餘計ニ資金ガ行クヤウニナルノデアリマスカラ、此修正ニ付イテモ政府ハ全然同意ヲシタ次第デアリマス、唯其次ノ條文ハ原案ハ三分ノ二デアリマシタノヲ四分ノ三、此方ハ廣クハシテアリマスガ、是ハ事情已ムヲ得ザル場合ニ於テハ勅令ヲ以テ制限ヲ擴メルト云フノデアリマスカラ、是ハ斯ウナリマシタ所デ全般ノ上ニ於テ大ナル影響ハ無イト思ヒマスノデ、此點モ亦同意ヲ致シテ居ル次第デアリマス、尙ホ農工銀行法中ノ四條ノ削除ト云ヒマスノハ、現行法デハ農工銀行ノ株主ハ各府縣ニ限ラレテ居リマスノデ、他ノ府縣ノ者ガコチラ

ノ府縣ノ農工銀行ノ株主ニナルコトハ許シテ居ラナカッタノヲ、政府ノ提案ニ於テハ之ヲ削除イタシマシテ、ドコノ者デモ株主ニナルコトノ出來ルヤウニシヤウトシテアッタノデアリマス、是ハ斯様イタセバ株主ハドコカラモ出ルト云フヤウニナレバ農工銀行ニ對シテ利害關係ヲ有ツ人ガ多クナル、サウナレバ從ッテ債券ノ發行等ニ於テ便利ヲ得ルデアラウト云フ考ヘテ此提案ヲ致シタノデアリマスガ、衆議院ニ於テハ、ソレヨリモ寧ロ株主ヲ各府縣各、別々ニ限ルト云フコトニシテ、此府縣ノ農工銀行ノ株主ハ此府縣ノ人デアルト、斯ウ致シタ方ガ一層、株主ト銀行トノ間ノ利害關係ヲ深クシテ宜シイノデアルカラ、現行法通りガ宜シイ、之ヲ削除セヌ方ガ宜イト云フノデ、其點ハ現行法ニ衆議院ハ復シタノデアリマス、唯現行法ニ於テハ個人ノ外、法人ハ株主ニナルコトハ出來ヌト云フコトニナッテ居リマシタガ、衆議院ニ於テハ其府縣内ノ者デアラナラバ必シモ個人デナクモ法人デモ株主ニナッテ宜シイト云フ爲ニ、茲ニ原籍ト云フコトヲ削ルト云フコトニナリマシタ、是ハ熟考イタシマシタ上、政府モ衆議院ノ修正ニ同意シテ宜シイモノト認メテ居ルノデアリマス、日本興業銀行法中ノ改正案ハ是ハ改正ノ點ハ二點アルノデアリマシテ、一ツハ今日、日本興業銀行ハ工場財團ト云フモノヲ擔保ニシテ貸付ヲスルコトガ出來マス、工場財團ト云フモノハ申上ゲルマデモナク、工場ノ敷地建物機械等ヲ一團トシテ之ヲ財團ト致シタモノデアアルノデアリマス、工場財團ヲ擔保ニ取ルコトガ出來ルト云フ法律ハアリマスカレドモ、財團ニナッテ居ナイ其工場ノ敷地ナリ建物ナリヲ擔保ニ取ルト云フコトハ今日出來ナイノデアリマス、同ク不動産カラ成立ッテ居リナガラ、財團トスレバ擔保ニ取ッテ宜シイガ、財團デナカラネバ擔保ニ取ルコトハ出來ヌト云フヤウニナッテ居リマスカレドモ、左様ニ制限ヲシテヤルホドノ必要モ無カラウ、興業銀行ニ於テモ時ニハ預金ノ貸越等ノ場合ニ於ケル根抵當ナドニ至ッテハ不動産ヲ擔保ニ取ッテ差支ナイモノデアラウ、又財團ヲ組織シテ居ナイモノガ興業銀行、農工銀行カラ金ヲ借りルニ付イテ不動産ヲ提供シタ場合ニ於テ之ヲバ擔保ニ取ラセナイト云フマデニ嚴重ニ制限スル必要ハアルマ、併ナガラ元來、興業銀行ハ有價證券ヲ擔保トシテ貸付ケルト云フ、有價證券銀行トモ申シテ宜シイ位ノ銀行デアリマス故ニ、不動産ヲ取ルコトヲ許シタ所ガ之ヲ餘計取ラセルト云フコトハ銀行其モノ、性質上、宜シクナイト云フ關係ヲ以テ原案ニ於テモ拂込資本金ノ二分ノ一マデヲ制限ト致シテ居

タ次第デアリマス、之ニ對シテハ衆議院ニ於テハ廣ク不動産トスルコトハ尙ホ廣過ギル、モット制限シタ方ガ宜シト云フノデ、此工場ノ敷地建物、竝ニ市街ノ宅地建物、即チ勸業銀行、農工銀行ニ於テハ餘計取ラセヌヤウニ一方ニ制限シテ居ル所ノ其市街ノ宅地建物ノヤウナ物ノミヲ勸業銀行ハ擔保ニスルコトヲ許スヤウニシタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フノデ政府ノ提案ニ對シテ更ニ制限ヲ設ケル意味ヲ以テ、此條文ハ衆議院ニ於テ修正ニナツテ居リマス、此修正ハ無論斯様ニ修正ニナリマシテ、實際ノ上ニ於テモ差支ナク、又道理ノ上ニ於テモ至極能ク道理ノ立ツテ居ル次第デアリマスカラ、此點ハ政府デハ全然同意ヲシテ居ル次第デアリマス、其他一點ノ改正ハ、勸業銀行ニ餘裕金ノアリマシタトキニ、今日マデハ、公債、債券ノヤウナモノヲ持ツコトガ出來ルヤウニナツテ居リマスガ、其外ニ株券ヲモ所有スルコトガ……買入レルコトガ出來ルト云フノガ改正ノ一點デアリマス、是ハ元來、勸業銀行ナルモノハ、有價證券銀行ト申シテモ宜シイ位ナ銀行デアリマシテ、現ニ株券ヲ擔保ニシテ貸付ヲ爲スコトガ、最モ勸業銀行ノ重モナル業務ニナツテ居ル位デアリマスカラ、其株券ヲ餘裕金ノアル場合ニ買入レルコトヲ許スト云フコトハ、是ハ却ツテ便利デアルト思ヒマシテ、此改正ヲ加ヘル次第デアリマス、ソレカラ北海道拓殖銀行法ノ改正ハ、是ハ北海道拓殖銀行ヲシテ樺太ニ於テモ尙ホ營業ヲ爲サシメタイト云フノ改正ニ外ナラス點デアリマス、樺太ノ領有ガ若シ北海道拓殖銀行ヲ拵ヘマスヨリ以前ニアリマシタナラバ、無論北海道ノ外、樺太モ其ニ併セテ北海道拓殖銀行ノ營業區域ニスルノデアリマシタケレドモ、樺太ノ領有ハ此銀行ノ出來マシタ後デアリマシタ爲ニ、現行法ガ北海道拓殖銀行ヲシテ樺太マデ手ヲ出シテ仕事ヲスルコトヲ認メテ居リマセヌ、然ルニ樺太ダケノ小サナ區域デ更ニ特別ノ銀行ヲ造リマセヌヨリモ、既ニ成立ツテ居リマスル北海道拓殖銀行ヲシテ、併セテ樺太マデモ仕事ヲサセルト云フノガ相當デアラウト思ヒマスノデ、此度改正ヲ加ヘルノデアリマス、其他ノ改正ハ既ニ勸業銀行法、或ハ農工銀行法ニ於テ昨年改正ニナツテ居ツテ、同ジ改正ガ北海道拓殖銀行法ニマデハ及バヌデ居ツタモノヲ同様ニ直シマストカ、或ハ唯今ノ條文ニ於テ闕ケテ居ツタノヲ補フト云フ位ナコトデアリマシテ、大ナル改正デハ無いノデアリマス、又此北海道拓殖銀行法中ヘ加ヘマシタ衆議院ノ修正モ、前ニ勸業銀行法、農工銀行法中等デ申上ゲタト同ジ趣意デ成立ツテ居リマスノデ、是亦政府デハ全然、衆議院ノ修正ハ道理アルモノ

ト認メテ居ル次第デアリマス、斯ノ如キ理由デアリマシテ、此四案トモ今日ノ情勢ニ於テハ極メテ必要ナル改正ト認メマシテ提案シタ次第デアリマス故ニ、ドウゾ御審議ノ上ニ御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○子爵高野宗順君 チョット若槻大藏次官ニ伺ヒタイ、此兩案、勸業銀行ト農工銀行ハ唯今ノ御説明デ能ク分リマシタ、詰リ私ノ伺ツタ所デハ範圍ヲ擴メテ多少便利ニナリマシタヤウデスカラ、ソレハ結構ト思ヒマスガ、此法案ヲチヨット見マスルノニ、勸業銀行ノ方ハ「株式會社トシ」ト云フコトガアルト、是マデハ株式會社デナイヤウニ見エル、私ハ株式會社デアッタカト思ヒマス、ソレカラ農工銀行ノ方ハ「株式會社ニシテ」ト云フコトガアリマスカラ、細カイ事ヲ申スヤウデスケレドモ、農工銀行ノ方ハ是マデ株式會社デアラ、サウスルト今度新ニ株式會社ニナツタヤウニ此法案デ見エマスルガ、ソレハドウ云フ何デアリマスカ、ドコニ違ヒガアリマスカ、若シ私ノ考ヘノ如クニ、勸業銀行ハ是マデ株式會社デナイトシテ……揚足ノヤウナコトヲ申スノデハアリマセヌガ、國立銀行ナラバ是マデ株式會社デナイノデスカラ……

國立銀行ト云フモノハ今日ナイカト思ヒマスガ、サウスルト銀行ハ悉ク株式會社ニナツテ居ルヤウニ思ヒマス、然ルニ唯今ノ勸業銀行ノ法案デ見マス「株式會社トシ」トアリマスカラ、細カイ事ヲ申スヤウデスケレドモ、新ニ株式會社ニナルヤウデアリマス、農工銀行ノ方ハ是マデカラ株式會社デアッタカラト云フ所デ「株式會社ニシテ」ト斯ウアリマス、ソレヲ資本金ハ二十万圓以上デ、一株ハ二十圓デアアル、是マデノ農工銀行ノ株ハドウ位デアッタカ私ハ能ク存ジマセヌガ、要スルニ私ノ伺ヒマスノハ、株式會社ト云フコトハ、勸業銀行モ農工銀行モ兩方トモ株式會社ト思ツテ居リマシタ、私ノ考ヘ違ヒカソレハ知レマセヌガ、果シテ私ノ思フ通りデアリマスラバ、何故ニ……片一方ハ今度更ニ株式會社ニナルヤウニ「トシ」トゴザイマス、片一方ハ「ニシテ」トアリマスカラ、是マデカラ株式會社デアッタヤウニ取レマスタガ、ソコハ少シ元ガ違ヒマスヤウニ見エマス、ドウ云フ譯デ斯ウ云フ法案ガ出マシタカ、兩案トモ御説明ガゴザイマシタカラ委シク伺ヒタウゴザイマス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 是ハ兩方トモ皆株式會社デアリマシテ、現在、

株式會社デアリマスガ、此規定ノ文字ハ現行法ノ儘ヲ採リマシタノデアリマス、ソレデ勸業銀行法ノ第一條ヲ「日本勸業銀行ハ株式會社ニシテ其ノ本店ヲ東京ニ置ク」ト書イテモ、何モ差支ハナイノデアリマス、併ナガラ現行法ニ「日本勸業銀行ハ株式會社トシ其ノ本店ヲ東京ニ置ク」ト云フ文字ガ現行ノ第一條ニアルノデアリマス、ソレデ其儘ヲ採リマシタノデ、コチラノ方ニハ「株式會社トシ」ト書イテアッテ、農工銀行ノ方ニハ「株式會社ニシテ」ト書イテアル、其意味ガ何カ違ヒハセヌカト云フ御尋ネニ對シテハ、ソレハ違ヒマセヌノデ、同ジコトデアリマシテ、コチラヘモ「トシ」ト書イテモ差支ナイノデアリマスガ、併ナガラ現行ノ文章ガ「株式會社ニシテ」ト書イテアリマスノデ、其儘ヲ採リマシタノデアリマス、ソレデ實體ニ於テハ何等違フコトハ無イノデアリマス

○子爵高野宗順君 ソレハ唯今ノハ……甚ダ妙ナコトヲ申スヤウデスケレドモ、成ルホド現行ノ儘ヲ採ッタト云フ御話デアリマスガ、深ク考フルニ足ラヌ位ナコトデアリマセウケレドモ、併シソレデハ俗ニ申ス負惜ミノヤウニ見エル、同ジモノデアリマスナラバ同ジコトニ書イテ宜カラウト思フ、若槻サンノ言葉ハ少シ穩當ヲ闕イテ居ルヤウニ思ヒマス

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ復ス〕

○木村誓太郎君 私モ一箇條質問ヲ致シタイト思ヒマス、此勸業銀行法、農工銀行法ノ改正ハ、此第一條ノ改正ニ依リマシテ、全部此根本ニ其性質ヲ變更スル改正ト思ヒマス、其理由ハ政府委員ノ唯今ノ御説明ニ依リマスルト、御尤モニ感ジマスノハ、舊債ノ借換ト云フヤウナコトハ出來スト云フコトデアリマス、併ナガラ此改正ハ我々モ望ム所デアリマスガ、此根本ノ第一條ノ目的ト云フモノヲ削除セズトモ、ソレ等ノ改正ハ出來ヤウト考ヘマス、然ルニ此根本ニ改正ヲシテ、即チ農業工業ノ發達ノ爲ニ置カレタニツノ銀行ヲ、取リモ直サズ土地抵當銀行ト性質ヲ變ヘラレルノデアリマス、然ルニ名稱ハ農工銀行トアリマスルガ、根本カラ改正セラレマスナラバ、此「農工」ト云フ名稱ハナゼ改正ニナラヌモノデアリマセウカ、其點ヲ一應御尋ネラシタイト思ヒマス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 初メカラ法律ヲ斯様ニシテ規定ヲ致シテ提案ヲ

致シマスナラバ、御話ノ通り丁度、實質ニ合フヤウニ名稱ヲ設ケテ宜シイノデアリマスガ、今日ハ改正デアリマスノデ、日本勸業銀行トカ農工銀行ト云フ名前ハ今日既ニ社會ニ十分行渡ッテ人ノ能ク熟知シテ居リマス名稱ニナッテ居ルノデアリマス、今之ヲ理論ニ拘泥シテ名稱ヲ改メマスト云フト、更ニ又人ノ記憶ガ變ッテ參ラネバナラヌコトニナリマスノデ、ソレハ斯ウ云フ營業ヲシテ居ル會社トシテハ最モ避クベキコトデアルト考ヘマシテ、名稱ハ以前ノ儘ニ据置ク次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 第十七ヨリ第二十マデノ法案ハ同一委員ニ付託シテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十一、明治二十三年法律第百三號廢止法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告

明治二十三年法律第百三號廢止法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月九日

右特別委員長

子爵 舟橋 遂賢

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵舟橋遂賢君演壇ニ登ル〕

○子爵舟橋遂賢君 御報告ヲ致シマス明治二十三年第百三號廢止法律案、此案ハ御承知ノ通り法律第百三號ヲ以テ沖繩即チ琉球ハ商法ノ破産編ノ規定ハ施行シナイ、除外例ヲ用ウルト云フ所ノ法律デゴザイマス、トコロガ其當時ハ琉球ニ於テハ會社等モ無シ即チ除外例デ宜シカッタノデゴザイマスガ、唯今ニ於キマシテハ沖繩縣ニ於キマシテモ追々進歩シテ現今デハ會社ノ數モ二三十ゴザイマス、即チ株式會社ガ二十二、合名會社ガ四、合資會社ガ八、資本金額ガ凡ソ六百二十一萬九千餘圓ト云フコトデ、餘程進歩シテ參リマシタ、斯ノ如ク會社ガ既ニゴザイマス、致シマスレバ矢張り會社ニシテ破産ヲ致シタトキニハ破産法ヲ施行スル必要ガ起ッテ參リマス譯デ、今日ニ於テハ即チ其沖繩ニ對スル除外例ヲ廢メルト云フ必要ガ起ッテ參リマシタ、依ッテ此明

治二十三年ノ法律第百三號ヲ廢止シタイト云フノガ本案ノ趣意デアリマス、此委員會ハ九日ニ開キマシテ政府委員ノ辯明ヲ求メマシタ、質問終リマシテ何等ノ異議モ無ク全會一致ヲ以テ可決ヲシタンデゴザイマス、斯ノ如キ次第デゴザイマスカラ、ドウカ諸君ニ於テモ御賛成アツテ御可決アラムコトヲ希望イタシマス、此段御報告ヲ申シマス、付イテハ簡單ナ案デゴザイマスカラ讀會省略ヲ以テ直チニ御可決アラムコトヲ希望イタシマス、右動議ヲ提出イタシマス

○子爵高野宗順君 賛成

○子爵曾我祐準君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○子爵梅小路定行君 賛成

○田中芳男君 賛成

○男爵中川與長君 賛成

○子爵前田利定君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○男爵田健治郎君 賛成

○男爵關義臣君 賛成

○男爵北大路實信君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 舟橋子爵ノ讀會省略ノ動議ハ成規ノ賛成者ガアツタト認メマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ニ對シテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵曾我祐準君 此際、議事日程ヲ追加サレマシテ豫算ニ關係アル所ノ朝鮮事業公債法案、朝鮮事業公債金特別會計法案、及朝鮮鐵道用品資金會計法案、此三案ヲ議事ニ付セラレムコトヲ希望致シマス

○伯爵松本宗隆君 賛成

○男爵關義臣君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 曾我子爵ノ議事日程追加ノ動議ハ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、是ヨリ朝鮮事業公債法案、朝鮮事業公債金特別會計法案、朝鮮鐵道用品資金會計法案、此三案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告

朝鮮事業公債法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十日

右特別委員長

子爵 曾我 祐準

貴族院議長公爵德川家達殿

朝鮮事業公債金特別會計法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十日

右特別委員長

子爵 曾我 祐準

貴族院議長公爵德川家達殿

朝鮮鐵道用品資金會計法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月十日

右特別委員長

子爵 曾我 祐準

貴族院議長公爵德川家達殿

〔子爵曾我祐準君演壇ニ登ル〕

○子爵曾我祐準君 唯今御宣告ニナリマシタ三案ニ付イテ委員會審査ノ結果

ヲ御報告イタシマス、此三案ハ去九日ニ付託ニナリマシタノデアリマス、サウシテ十日ニ會ヲ開キマシタ、第一ニ朝鮮事業公債法案ヲ御報道イタシマス、デ此案ハ其名稱ノ如ク朝鮮ニ於ケル事業公債ノ法律デアリマス、是ハ第三項ニ五千六百萬圓以内ト云フ金額ヲ示シテアリマスガ、此五千六百萬圓使用ノ目的ハ三ツデアリマス、第一ハ鐵道デ、第二ハ治道……道ヲ治ムル、第三ハ築港、鐵道ニ於テハ重モナルモノハ湖南線、京元線、此二ツガ重モナルモノデ、大略三百哩モアリマセウ、治道ハ是ハ一々讀上グルノハ、クドラシウゴザイマスガ、二十六線、五百八十七里、哩デハアリマセヌ、日本里數ニシテ五百八十七里バカリアリマス、築港ハ四箇所デアリマス、初メノ鐵道、治道、是ハ五箇年、築港ハ六箇年間、斯ノ如キ見込ダサウデアリマス、元來韓國時代ニ朝鮮トナラザル以前、韓國時代ニアル所ノ事業ノ爲ノ公債ガ千九百萬圓バカリアリマスサウデアリマスガ、之ト同時ニ引續ク譯ニナルサウデアリマス、ソレ故ニ此案ノ第二項ニ借入金云々ト云フコトガアリマスガ、以前ノ公債ハ甚ダ利ガ高クテ六分若クハ六分五厘ト云フヤウナ利ニナツテ居リマスサウデアリマスニ依ツテ、時期ガ來タナラバ追々是ハ借換ヘルト云フ豫期ヲ以テ此二項ニ斯ウ云フコトガ加ハツテ居ルサウデアリマス、此案ニ付イテハ可ナリ質問モアリマシタガ、質問ノ結果、別ニ何等不都合ナイト審査イタシマシタニ依ツテ、全會一致ヲ以テ可決スベキモノト致シマシタ、第二ニハ朝鮮事業公債金特別會計法案、之ニ付イテ申上ゲマスガ、本案ハ元來此朝鮮ノ會計ト云フモノハ御承知ノ通り特別ニナツテ居リマス、ソレノ上ニ又事業公債ヲ特別トシマスレバ、此案ハ特別ノ特別ト云フヤウナ譯ニナリマス、其必要ハアルマイト云フヤウナ說モアツタサウデアリマスガ、是ハ此事業公債ノ爲ニ其出納ヲ審ニシ、若クハ便宜之ヲ利殖スル等ノ爲ニ斯ウ致シタト云フコトデアリマス、之ニ付イテ別段說明ト申ス程ノコトモゴザイマセヌガ、附則ノ第二項ニ「明治四十三年勅令第四百六號」トアリマスガ、是ハ即チ事後承諾ノ分デアツテ、茲ニ殘餘金云々ノコトガアリマスガ、此殘餘金ハ大略三十萬圓バカリアルト申スコトデアリマス、之ニ付イテハ餘リ質問モゴザイマセヌデ、全會一致ヲ以テ可決シマシタ、第三ニハ朝鮮鐵道用品資金會計法案デアリマスガ、本案ハ既ニ殆ド斯ノ如キモノガ元アツタノデアリマスガ、合併ノ結果トシテ改メテ此案ガ出シタ譯デアリマス、唯此案ニアル第八條ハモト單行法律トシテアツタ趣デアリマスガ、今度此條中ニ挿入サレタ譯ダサウデアリ

マス、是ハ別シテ質問モ少クシテ全會一致ヲ以テ可決シマシタ、右申シマス通り三案トモ甚ダ簡單ナモノデ、且ツ明瞭デモアリマスニ依ツテ、ドウカ委員ノ調査ニ御同意クダスツテ讀會省略ヲ以テ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○岩村兼善君 賛成

○男爵茨木惟昭君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○田中芳男君 賛成

○伯爵大原重朝君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○男爵金子有卿君 賛成

○木村誓太郎君 賛成

○男爵野田裕通君 賛成

○子爵松平親信君 賛成

○男爵關義臣君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 曾我子爵ノ三案トモ讀會ヲ省略スルト云フ、勳議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 三案トモ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十二、水道條例中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

〔河井書記官朗讀〕

水道條例中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十四年三月七日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 長谷場 純孝

水道條例中左ノ通改正ス

第二條ニ左ノ但書ヲ加フ

但土地開發ノ爲メ町村内ニ水道ヲ布設スル必要アル場合ニ限リ當該町村其資力ニ堪ヘサルトキハ元資償却ヲ目途トスル市町村以外ノ企業者ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ノ元資トハ布設費及其利子ヲ云フ但利子ハ年五分以内トス

第三條ニ左ノ一項ヲ加フ

市町村ニ非サル企業者ニ在リテハ前掲各號ノ外企業ノ組織、資本ノ總額、元資償却ノ方法及許可年限ヲ記載スヘシ

第四條中「認可狀」ノ下ニ「又ハ許可書」ヲ加ヘ左ノ一項ヲ加フ

市町村ニ非サル企業者ノ出願ニ對シテハ内務大臣ハ必要ト認ムル事項ヲ許可書ニ附シテ命令スルコトヲ得

第五條中「地方稅」ヲ「其他ノ公課ニ」改ム

第十七條 市町村ニ非サル企業者ノ布設シタル水道ニシテ許可年限満了シタルトキ又ハ許可年限内ニ元資ノ償却ヲ了リタルトキハ其水道及水道經營ニ必要ナル一切ノ土地物件ハ無償ニテ關係市町村有ニ歸ス

第十八條 市町村ニ非サル企業者ノ布設シタル水道ニシテ關係市町村ニ於テ必要ト認ムルトキハ元資未償却金額又ハ水道布設費ヲ許可年限ニテ除シ之ニ殘餘ノ年限ヲ乘シタル金額ヲ以テ之ヲ買收スルコトヲ得

附則

第八條乃至第十六條ニ於テ市町村及市町村長トアルハ市町村以外ノ企業ニ係ル場合ニハ其ノ企業者ニ之ヲ準用ス

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(一木喜徳郎君) 本案ニ對シマシテ政府ノ意見ヲ簡單ニ申上ゲテ御參考ニ供シタイト思ヒマス、現行水道條例ハ御承知ノ如ク水道事業ハ市町村ニ限ッテ之ヲ經營スルコトガ出來ルト云フ規定ニナッテ居リマス、是ハ水道ノ性質上其市民衛生ニ關シマスル重大ノ關係カラ見マシテモ、獨占的ノ性質ヲ有ッテ居リマスル點カラ見マシテモ、固ヨリ相當ナ方針デアルト考ヘテ

居リマス、唯大都會ノ附近等ニ於キマシテ工業ノ發達其他ノ關係ヨリシテ大ニ發達スベキ望ノアル所デアリマシテ、現在ハ極メテ人口モ少ク町村ノ資力ノ闕乏シテ居リマスマウナ所ガゴザイマス、斯様ナ所ニ於キマシテハ水道ノ布設ヲ市町村ノ力ニ俟ツト云フコトハ餘程困難デアリマス、町村ノ資力、並ニ其信用ガ水道ノ布設ニ堪ヘナイ場合デアリマスカラシテ、之ヲ市町村ノ企業ニ限ルト云フコトニ致シマスルト云フト、住民ニ對シテ良水ヲ供給スルコトガ出來ナイ、隨ッテ其土地ノ開發ヲ見ルコトガ出來ナイ、斯様ナ特殊ノ場合ニ對シマシテハ相當ナ特例ヲ設クルノ必要ガアルダラウト云フコトガ衆議院ノ提案ノ大體ノ趣旨デゴザイマス、モト提出者ノ提案ハ規定ガ稍、汎クナッテ居リマシタケレドモ、衆議院ノ委員會ニ於キマシテ段々審議ヲ重ネマシテ、水道ヲ市町村ノ公營トスルト云フ大體ノ主義ト調和セシメマスル爲ニ、數項ノ修正ヲ加ヘマシタ、其重モナル點ヲ申シマスルト第一ニ民設ノ水道ヲ許スノハ土地開發ヲ目的トスル場合ニ限ル、土地開發ノ爲ニ必要ナル場合ニ限ル、次ニハ町村ニ限ラヌ場合ハ此特殊ノ場合ニ限ルコト、致シマシテ、サウシテ其企業者ガ元資ノ償却ヲ目的トシテ事業ヲ經營スルトキデナケレバ之ヲ許可イタサナイ、又元資償却ノ爲ニ必要ナル期間ハ行政廳ガ之ヲ認メマシテ初メニ定メテ置イテ其期間ガ經過スレバ其水道ハ自ラ町村ノ有ニ歸スル、又其期間内ニ於キマシテモ元資ノ償却ヲ終ッタルトキハ當然、町村ノ營業物トナル、又其期間内ニ於テ未ダ元資ノ償却ヲ終ラヌ場合ニ於キマシテモ、町村ガ水道ヲ布設スルノ資力ヲ得テ其水道ヲ相當ノ賠償ヲ與ヘテ買收シヤウトスルトキニハ之ヲ拒ムコトハ出來ナイ、是等ノ數項ノ修正ヲ加ヘテ衆議院ニ於テハ本案ヲ議決イタシマシタノデゴザイマス、是等ノ修正ガ加ハリマシテ當初提案ノ趣旨ガ明白ニナリマシタル以上ハ、公營ノ主義ト相調和シテ特別ノ場合ニ於ケル實際ノ必要ニ應ズルコトノ出來ル適當ナル案トナッタモノト認メマスルガ故ニ、政府ハ之ニ對シテ全然同意ヲ表シマシタ次第デゴザイマス

○三宅秀君 チョット質問ヲ……本員ハ最初カラ意味ガ分リマセヌデアリマシタカラ政府ノ説明ヲ求メル積リデゴザイマシタガ、唯今細カニ御説明ニナリマシタカラ大體ノ御方針ハ分リマシテ、大ニソレデ安心ハ致シマシタ、ケレドモマダ「土地開發」ト云フ文字ニ付キマシテ今一應伺ッテ見タイト存ジマスノハ、初メテ水道ヲ布設スルト云フ意味ニ是ガナリマスノデアリマスカ、

或ハ是マデ水道ヲ引イテ居ルケレドモ、追々土地ガ發達スルニ付イテ一ツノ水源カラ引イテ來タノデハ足りナイカラ今一ツノ水源カラ引クコトヲ新規ニ企業スルノガ困難デアルト云フ、其時分ニ其町村以外ノ企業者ガ詰リ金ヲ立替ヘテ布設シテ呉レタラ其時ニハ許スト云フ、斯ウ云フ意味デゴザイマセウカ、全ク一ツモ水道ノ無イ所ニ初メテカケルトキバカリガ此條例ニ當ルノデアツテ、一本アツタケレドモ、ソレデハ追々土地ガ進歩シテ行クニ水ガ足りナイカラ今一ツ別ノ水源カラカケルトキ町村ニハ今、金ガ無イカラ其金ヲ立換ヘサセルト云フ意味モ此中ニ含蓄シテ居リマスマヤ否ヤト云フコトヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

〔政府委員一木喜徳郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(一木喜徳郎君) 唯今ノ三宅君ノ御質問ハ實際ノ應用問題ニナリマスガ、元來先刻モ申上ゲマシタ如ク水道ハ成ルベク公營ニシタイト云フコトハ固ヨリ水道條例ノ精神デゴザイマスシ、又政府ノ執ッテ居リマス所ノ方針デゴザイマス、ソレデ市町村ニ資力ノ無イト云フ場合ニ於キマシテハ已ムヲ得マセヌガ、苟モ信用ノアル所デアリマスマナラバ、其資本ノ調達等ニ付キマシテハ、或ハ低利資金ノ融通ヲ致ストカ、其他百般ノ便宜ヲ與ヘル考ヘヲ持ッテ居リマス、唯今御話ノアリマシタヤウナ場合ハ兎モ角、町村ガ既ニ水道ヲ布設シテ居ル所ハ即チ水道ヲ布設スル位ノ力ノアツタ所デ、又恐ラク現在モ力ノアル所デアラウト存ジマス、唯其水道ノ擴張ヲ要スル場合デアリマシテ、斯様ナ町村デアリマスレバ既ニ相當ノ資力ノアル者ト認メテ宜カラウト思ヒマス、又其擴張ノ際ニ於キマシテ一時要スル所ノ資金ノ調達ノ方法ハ別ニ之ヲ攻究スルコトモ出來ヤウト思ヒマスカラ、大體唯今御聞キニナリマシタヤウナ場合ニ於キマシテハ此改正ノ條文ヲ適用スベキ場合ニハナルマイト考ヘマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十三、刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

〔河井書記官朗讀〕

刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案
右本院提出案及送付候也

明治四十四年三月七日

貴族院議事速記録第十五號

明治四十四年三月十一日

刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案 第一讀會
輕便鐵道法中改正法律案 第一讀會

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治三十八年法律第七十號ニ依リ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケ取消サルコトナクシテ猶豫期間ヲ經過シタル者ハ刑法ニ依リ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルモノト看做ス

○伯爵松平賴壽君 政府ノ御意向ヲ一ツ伺ヒタイ

〔政府委員平沼騏一郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(平沼騏一郎君) 此法案ハ衆議院提出ノ法案デゴザイマスガ、其趣意ハ刑法施行法ノ條文ニ於キマシテ刑ノ執行猶豫ノ效果、即チ現行刑法ニ於キマシテ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ致シマシタ場合ニ言渡ノ效力ヲ全滅スルト云フ效果ヲ刑法施行以前ノ場合ニモ適用シタイ、即チ刑法施行以前ニ於ケル刑ノ執行猶豫ノ效果ト云フモノハ言渡ノ效力ヲ全滅スルニアラズシテ、刑ノ執行ヲ免除スルト云フコトデアッタノデアリマス、ソレヲ新刑法ノ效果ヲ舊刑法時代ニ言渡ヲ受ケマシタ者ニモ及ボシタイト云フ趣意デアアルデアリマス、此點ニ付キマシテハ政府ハ同意ヲ致シマセヌノデアリマス、其理由ハ現ニ舊刑法時代ニ於キマシテ裁判ノ言渡ヲ受ケマシテ、之ニ依ッテ既ニ其效力ガ確定イタシマシテ、既ニ執行猶豫ノ期間ヲ經過イタシマシテ、全ク處分ヲ終了イタシテ居リマス者ニ新法ノ效果ヲ及ボスト云フコトハ條理ニ於テ甚ダ穩カナラザルコト、考ヘマスカラ、此點ニ付キマシテハ政府ハ同意ヲ致スコトガ出來ナイノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十四、輕便鐵道法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

〔河井書記官朗讀〕

輕便鐵道法中改正法律案
右本院提出案及送付候也

明治四十四年三月七日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

輕便鐵道法中左ノ通改正ス
第五條中「私設鐵道法」ノ下ニ「第九條第二項」ヲ加ヘ左ノ但書ヲ加フ

但シ第九條第二項ノ規定ハ私設鐵道株式會社ニ非サル會社カ兼業トシテ
輕便鐵道ヲ敷設スル場合ニハ此ノ限ニ在ラス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員平井晴二郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(平井晴二郎君) 此輕便鐵道法改正ノ要旨ハ、御承知ノ如ク私設
鐵道法ニ據ル所ノ私設鐵道會社ハ株金ノ十分ノ一ノ拂込ヲ以テ成立シ得ルコ
トニナツテ居リマスノヲ、輕便鐵道法ニ據ツテ許サレタ所ノ輕便鐵道會社ニ
モ同様ニ十分ノ一ノ拂込ヲ以テ成立スルヤウニ致シタイト云フ衆議院ノ提案
デゴザイマシテ、政府モ是ハ最モ必要ナル改正ト考ヘマシテ、全然同意ヲ致
シテ居ル次第デゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十五、鐵道敷設法中改正法律案、衆
議院提出、第一讀會

〔河井書記官朗讀〕

鐵道敷設法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十四年三月七日

衆議院議長 長谷場 純孝

貴族院議長公爵徳川家達殿

鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第二條第一項近畿線ノ部第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 滋賀縣下大津ヨリ西近江路ヲ經テ福井縣下敦賀ニ至ル鐵道

〔政府委員平井晴二郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(平井晴二郎君) 唯今朗讀ニナリマシタ所ノ鐵道敷設法中改正法
律案ニ對シテノ政府ノ意思ハ過日來再三述べマシタ通りデゴザイマス、別ニ
此案ニ致シテモ違ッタ所ハゴザイマセヌ

○下郷傳平君 私ハ本案ニ付キマシテ陸軍省ノ當局者ノ御意見ヲ伺ヒタイト
思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 陸軍省ノ政府委員ハ出席ガゴザイマセヌカラ唯今
呼ビニ遣ハシマシタ、少シ御待チテ願ヒマス……右ノ次第デゴザイマスカラ

陸軍省ノ政府委員ノ出席マデ延バシテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十六、森林法中改正法律案、衆議院
提出、第一讀會ノ續、委員長報告

森林法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月八日

右特別委員長

伯爵 吉井 幸藏

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵吉井幸藏君演壇ニ登ル〕

○伯爵吉井幸藏君 諸君、森林法中改正法律案デゴザリマス、此案ハ衆議院
ノ提出デゴザリマスルガ、之ヲ衆議院ニ提出サレル前ニ既ニ政府ト協議サレ
マシテ、詰リ政府ト衆議院ノ請願委員會ト相談ノ上、編マレタ案デアリマス、
此改正ニ三ツノ要點ガゴザリマスル、一ツハ保安林ニ關スル件、一ツハ土地
收用ニ關スル件、一ツハ火入ノ件デゴザリマス、此第三十二條ノ二ノ修正ハ
現今主務大臣ノ職權ニ屬シテ居リマスル保安林編入及解除ノ件等ニ付キマシ
テ其保安林ニ關スル主務大臣ノ職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルト云フコト
デアリマス、其理由ハ成ルベク保安林ニ編入等ノコトヲ簡易ニ致シ、手數ヲ
省クト云フガ理由デゴザリマス、第二十二條、二十三條ハ三十七條ノ修正ノ結
果デ手續及極ク必要ノコトニ付キマシテ自然ノ改正ニナルノデゴザリマス、
第五十條、五十一條ノ土地收用若クハ使用ノコトデゴザリマス、是マデハ森林
ニ付キマシテ經營スルニハ土地ノ收用又ハ使用ノ協議ガ調ヒマシテ、若シ又
裁判ニデモナツテ居リマスレバ、其判決ガ濟ミマシタ所デ企業者ハ保證金ヲ供
託イタシマスカ、擔保ヲ供シマスカ致シマシテ直チニ事業ニ著手が出來タノ
デアリマス、此度ノ改正ノ五十五條第一項ト申シマスノハ、此協議ガ……企
業ヲスル爲ニ土地ノ使用ヲ知事カラ許サレテモ、尙ホ其所有者ト協議セヌケ
レバナラス、其協議ガ調ハナイ場合ニハ地方森林會ノ裁決ヲ仰グノデアリマ
ス、ソレニ又不服デアレバ所有者ハ訴願若クハ訴訟ヲ起スノデアリマスガ、
其訴願訴訟ノ結果ヲ是マデノハ待ッタノデアリマス、此度ノ改正ニナリマス
ルト、地方森林會ノ裁決ガアリマス、直チニ保證金若クハ擔保ヲ供シテ事

業ニ著手が出來ルノデアリマス、斯ク致シマセスト甚ダ其企業者ニ取リマシテ手違ヒ等ヲ致シ、又公益上必要ナ仕事ニ著手スルコトガ出來ナイト云フコトデアリマスルカラ、此度ハ裁判等ノ結果ヲ待タズシテ地方森林會ノ決議ガアッタラバ、直チニ保證金若クハ擔保ヲ供シマシテ事業ニ著手スルコトガ出來ルト、斯ウ云フ譯ニナルノデアリマス、ソレトモウツノ理由ハ普通ノ土地收用法ノ規定ニ據リマス、丁度斯様ナ割合ニナリマシテ、是マデノハ土地收用法ト此森林法ト同一ノ場合ニ權衡ガ取レテ居ナカッタノガ、是デ權衡ガ取レルヤウニナルノデアリマス、第七十九條、是ハ從來ハ森林保護ノ爲ニ森林附近ニ於キマシテ火入ヲナストキハ警察官吏若クハ森林官吏ノ許可ヲ得マシテ火入ヲシタノデアリマス、然ルニ此火入ト申シマスノハ山林保護ノ外ニ國土保安ノ爲ニ此火入ヲ取縮ルコトガ必要デアリマス、草原ヲ燒イテ仕舞フト云フコトハ國土ヲ肥ヤス方ニハナラナイ、草ハ矢張り置イタ方ガ宜イ、サウ云フ所ハ成ルベク火入ヲシナイヤウニ保護シテ置カヌケレバナリマセヌ、ソレデ此度ノ改正ハ火入ヲサセナイト云フノガ原則ニシテアリマシテ、サウシテ火入ヲシナケレバナラス、例ヘバ害蟲ノ驅除、開墾若クハ植林ノ地拵ヘラスルトカ云フヤウナ場合ニ燒カナクチャナラヌ必要ナル所ハ即チ知事ガ主務大臣ノ許可ヲ得テ之ヲナサシムルノデアリマス、第二項ハ現今ノ法ト同ジヤウナ場合デ右ノ場合ノ外ノ火入ヲナストキノ規定デアリマス、此委員會ハ質問ハ色々ゴザイマシタガ、別ニ意見モゴザイマセズシテ全部可決スベキモノト決議イタシテゴザイマス、本院ニ於キマシテモ、ドウゾ委員會ノ決議通り御可決アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決イタシマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

- 議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス
- 伯爵吉井幸藏君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望シマス
- 子爵本莊壽巨君 賛成
- 議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス、全部ヲ問題ニ供シマス、全部、特別委員長ノ報告通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

- 議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
- 伯爵大原重朝君 續イテ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
- 男爵中川興長君 賛成

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 陸軍省ノ政府委員ガ出席セラレマシタカラ第二十

五ノ日程ニ戻リマス

○下郷傳平君 私ハ本案ニ付キマシテ陸軍省ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、此改正法律案ニ依リマスルト、北陸道ト京阪ノ聯絡ト云フコトハ現在ノ聯絡ヨリモ近クナリマスノミナラズ、我國ノ北南ノ海岸ヲ聯絡スル上ニ於テモ餘程便利ダト思ヒマス、ノミナラズ此線路ノ中間ニハ彼ノ有名ナル饗庭野ガアリマス、是ハ陸軍省ガ常ニ演習ナドヲサレル所デアリマス、大阪、京都、金澤、名古屋各師團ヨリ常ニ此饗庭野ニ於テ演習セラレテ居ルヤウニ承ッテ居リマス、サウ致シマスルト是ハ又軍事上ニモ關係ガ有リハセヌカト思ヒマスカラ、陸軍省ノ御意見ヲ伺ヒマス

〔政府委員男爵石本新六君演壇ニ登ル〕

○政府委員(男爵石本新六君) 唯今ノ御質疑ニ對シテ御答辯ヲ申上ゲマス、唯今仰セノ如ク西近江ニ更ニ鐵道線路ヲ開キ、大津カラシテ敦賀ニ至ル線路ヲ設ケルニ付キマシテハ、陸軍ノ當局者トシテハ最モ希望スル所デゴザイマス、併ナガラ此線路ガ他ノ線路ヨリモ是非前キニナラナケレバナラヌト云フ程ノ程度デモ無カラウト思ヒマス、是ハ北陸ヨリ山陽へ交通ヲ取リマスノニ

多少迂回ハゴザイマスガ、今日既ニ東近江ニ鐵道線ガゴザイマスカラ、ソレニ依リマスレバ非常ニ不便ヲ感ズルト云フ有様デモ今日ハゴザイマセヌノデス、ソレカラ二段ニ御述べニナリマシタ平時ニ於キマシテ饗庭野ニハ射の場モアリ演習場モアル、之ガ爲ニモ必要デアラウト云フ御説デゴザイマシタガ、如何ニモ御同感デゴザイマス、御承知ノ如ク近來ハ砲兵ノ射的モ大變ニ射距離ガ延ビマシタカラ從ッテ射場ヲ餘程擴張シナケレバナラヌト云フ關係ガ起リマシタ、既ニ饗庭野ノ如キハ陸軍ニ於キマシテ其區域ヲ擴張イタシマシテ、從ッテ此方面ニ出テ參リマスル師團ハ大阪ハ初メカラ參ッテ居リマシタガ、京都師團、金澤師團モ參リ、場合ニ依ッテハ名古屋師團モ姫路師團モ參ルコトガゴザイマスカラ、ナカ〜此交通ト云フモノガ頻繁ニナリマスルシ、之ガ爲ニ早ク往復ノ出來ルノハ極メテ必要ノコト、思ヒマスカラ、此線路ノ敷設ハ陸軍トシテ最モ希望スルノデアリマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 此際、諸君ニ御諮リヲ致シタク存ジマス、議事日程第二十四、第二十五ノ法案ハ前キニ付託シテゴザイマスル鐵道敷設法中改正法律案ノ委員ニ此二案ヲ付託シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十七、衆議院議員選舉法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

衆議院議員選舉法中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月九日

右特別委員長

伯爵 柳原 義光

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 御報告ヲ申上ゲマス、此委員會ハ去ル八日ト九日ト二日ニ互ッテ委員會ヲ開イテ、政府委員モ出席サレマシテ、種々質問討議ノ結果、全會一致ヲ以テ否決イタシタノデゴザイマス、併ナガラ此否決タルヤ單純ナル否決デハナク、謂ハ、或ル意味ニ於ケル條件付ノ否決ト云フ如キ性質ヲ含ン

デ居ルノデアリマスカラ、一應此内容ヲ申上ゲヤウト存ジマスノデアリマス、ソレデ此案ハ諸君モ御承知ノ如ク衆議院ノ議員選舉法ニ依リマシテ選出セラ、所ノ選出議員ノ數ヲ殖ヤサウト云フノガ此案ノ要旨デアルノデゴザイマス、ソレデ元來、衆議院議員選舉法ナルモノハ國民ノ參政權ノ基礎ヲ定メル重要ナル問題デアリマスルガ故ニ、委員會ニ於テモ極メテ慎重ニ審議ヲ盡シマシタ次第デアリマス、ソレデ元來此衆議院議員選舉法中ノ附則ニ別表ガアリマシテ、其終ヒノ所ニ、本法ハ選舉區ノ人口ニ増減ヲ生ズルモ少クトモ十箇年間ハ之ヲ更正セズ、即チ改メヌト云フ規定ニナッテ居ルノデアリマス、併ナガラ年々此選舉法中ニ改正ヲ加ヘルト云フ所ノ案ハ、諸君ノ御承知ノ如ク貴族院ニ衆議院カラ送付ニナッテ是マデ來タノデアリマス、サウシテイツモソレハ否決イタスカ、然ラズンバ通俗ノ言葉ヲ以テ言ヘバ握潰シテ居ッタノデアリマス、本年當院ニマデ送ラレタ所ノ此案ハ是マデ送付ノ案トハ少シク異ナッテ居リマシテ「本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス」ト云フコトガ書添ヘテアルノデゴザイマス、而シテ次ノ總選舉ハイツデアアルカト言ヘバ來年ノ五月デアアルノデゴザイマス、而シテ又別表ニ規定シテアル十箇年ト云フ年限ノ切レルノハ、イツデアアルカト云フト、是亦來年ノ五月デアアルノデゴザイマス、然ラバ是マデ年々本院ニ現ハレテ來タ案ト違ヒマシテ、十箇年ノ年限ノ切レルノモ來年デアリ、又總選舉ヲ致スノモ來年デアアルカラシテ、殆ド此案ニハ賛成ヲシテ置イテモ敢テ差支ガナイカノ如ク本員ドモハ思フノミナラズ、茲ニ列記シテアル所ノ横須賀市ヲ初メ其他ノ土地ハ何レモ人口ガ非常ニ殖エテ參ッタノデアリマスカラ、其増加シタル所ノ人口ニ伴ウテ相當ノ選出議員ヲ出スト云フコトハ條理ニ於テモ極メテ然ルベキコト、考ヘルノデアリマス、現行法ニ據レバ郡部ハ十三万ノ人口ニ付イテ一人ノ議員ヲ選出シ、市ハ三万ノ人口ニ付イテ一人ノ議員ヲ選出スルノガ原則ニナッテ居リマス、ソレデ之ヲ唯今ノ人口ニ割合ヒマシテ増加シタナラバ、ドレホドニナルカト云フコトヲ政府委員ニ尋ネテ見マシタ所ガ、唯今ノ人口増加ノ割合ニ依レバ、大凡議員ノ數ガ四十名ホド増加セラル、ト云フ答辯ヲ得タノデアリマス、ソレカラ又前申上ゲマスル如ク來年ガ十年ノ期限デアリマシテ、本年ハ既ニ九年目デアリマスルカラシテ、少クモ十年間ハ如何ニ増減ガアラウトモ其人員ハ殖ヤサスト云フコトヲ規定シタル以上ハ半面ニ於テハ十年ノ後ニハ調査ヲシテ相當ニ増加スベキモノデアッタナラバ増加スルト云フ意味ハ確ニ現ハレテ居ルモノト確信イタ

スノデアリマス、ソレデ委員會ニ於キマシテモ、政府委員ニ政府ハ調査ノ結果、來年ハ此内容ハドウデアアルカ分リマセケレドモ、少クモ人口ノ増加ノ割合ニ伴ウテ相當ナ増加ヲスル方針デアアルコト云フコトヲ質問シタ所ガ、政府當局者ノ曰ク、ソレハ分ラヌト云フコトデアリマス、何故ニ分ラヌカト詰問シタ所ガ、マダ調査セヌカラ何トモ此際明言スルコトハ出來ヌト云フ、極メテ要領ヲ得ザル答辯デアッタデアリマス、ソコデ本員ガ更ニ政府委員ニ向ッテ質問ヲシタデアリマス、十年ノ中デ本年ハ既ニ九年目ニナッテ居ルカラ、モウ既ニ期限ガ切レルノニ垂ントシテ居ル九年目ニ於テ、其九年目ニ現ハレタ所ノ事實ヲ基礎トシテ、サウシテ假ニ九年目ガ満期ノ十年デアッタ、即チ本年ガ假ニ十年デアッタナラバ、本年ノ事實ニ準據シテ如何ニ改正ヲセラシムル、カト云フコトヲ質問シタ所ガ、政府委員ハ斯ノ如キ假設的ノ質問ニ向ッテハ答辯ヲ申上ゲルコトハ出來ヌト云フヤウナコトデアアル、併ナガラ政府委員ノ口占ヲ段々引イテ見テ、政府委員ノ意ノ在ル所ヲ窺ッテ見ルト、調査ノ結果、若シ改正ヲ加ヘルベキモノガアッタナラバ無論改正ヲスルト云フコトハ敢テ答ナラザルモノデアアルト云フ答辯デアッタデアリマス、ケレドモ愚鈍、私ノ如キ者ハドウモ之ニ付イテ要領ヲ得ヌデアリマス、ノミナラズ委員ノ中ノ他ノ諸君カラモ兎ニ角モ十年ト云フ年限ヲ是デ押ヘルト十年ノ期限ガ經過シタナラバ何トカ相當ナ途ヲ付ケルノガ當リ前デハナカラウカト云フコトヲ懇切ニ質問サレ、又希望ヲモ述ベラレタデアリマス、ソレデ尙ホ進シテドウモ表面ニ現ハレタルダケノ御答辯デハ要領ヲ得ナイカラシテ、何カ内部ニ伏在シテ居ル事實ガアルノデハナイカト云フ質問ヲ試ミマシタ結果、敢テ秘密會ト申ス程デモ無カッタデアリマス、一時速記ヲ中止シマシテ……筆記ヲ中止シテ、サウシテ内容ヲ述ベラレタデアリマス、其内容ハ敢テ差支ヘナイト本員ハ確信イタシマス、依ッテ此席カラ陳述イタシマス、元來十年ノ期限ヲ定メタト云フモノハ政府ノ意思モアッタデアリマス、ケレドモ、實ハ貴族院ノ意思デモアッタト云フコトデアリマス、即チ人口ガ増加スル、其人口ノ増加ニ伴ッテ其度毎ニ衆議院ノ議員ノ選出數ヲ殖ヤスト云フコトハ甚ダ煩雜ニ堪ヘヌカラ、暫ク十箇年ト云フ年限ヲ決メテ、其十箇年ノ年限ノ間ハ如何ニ殖エルトモ衆議院ニ選出セラレル議員ノ數ヲ殖ヤスト云フコトニ貴族院ノ多數ガ其意見デアアルガ故ニ、政府ニ於

テモ貴族院ノ意見ヲモ參酌シテ、去ル明治三十五年ニソレヲ決メタト云フコトデアッタデアリマス、右申上ゲル如ク少クトモソレデ十箇年ノ期限ガ切レタナラバ何トカセケレバナラヌト云フコトハ政府委員モ認メテ居ラレルデアリマス、然ラバ此九年目ヲ假ニ十年ト見テドウカト云フ質問ニ對シテハ明カナ答辯ガ出來ヌデアリマス、ノミナラズ政府當局者ノ言ハレルノニ是カラ調査ヲシテ、即チ九年目ノ切レタ所デ是カラ調査ヲシテ、サウシテ若シ改正スベキモノト云フコトガ認メラレタナラバ改正ハスルガ、何分調査ヲ致シテ見ナケレバ其結果ヲ明カニ今カラ言フコトハ出來ヌ、斯ウ云フ答辯デアッタデアリマス、本員ノミナラズ此案ノ委員デアッタ所ノ他ノ諸君モ無論改正ヲスルト云フコトニ付イテ非常ニ切望ヲシテ居ラレルデアリマス、故ニ委員會ニ於キマシテハ政府モ此儘放棄テニハシテ置クマイ、多分來年度ハ政府ガ相當ニ調査ヲシタ結果、進ンデ相當ノ方法ヲ具シテ、ソレニ依ッテ改正案ヲ出スダラウ、謂ハユル「ダラウ」ト云フコトデアアルデアリマス、「ダラウ」ト云フヤウナ積リデ先ヅ當年ハ敢テ之ヲ弄ラナクテモ宜カラウト云フヤウナ意味ニ於テ否決ヲ致シタデアリマス、委員會ノ情況ハ全ク私ガ申述ベタ如クデアリマシテ、委員全體ニ於キマシテハ十年ノ期限ガ切レタナラバ相當ナ改正ハセケレバナラヌト云フ意味デ、九年目ノ本年、敢テスルノ時機デ無イト云フ意味ニ於テ全會一致ヲ以テ否決イタシタデアリマス、併ナガラ政府當局者ノ意見ヲ聞キマスルト、漸ク九年目ノ年限ノ切レタ本年カラ始メテ調査ヲシテ、シカモ其調査ノ結果、何トカ改正ヲスル必要ガアッタナラバ改正ヲスルケレドモ、調査ヲシテ見ナケレバ分ラヌト云フコトデ、敢テ調査ノ結果、其儀ニ及バヌト云フコトデアッタナラバ、手ヲ著ケヌト云フヤウナ、極メテ要領ヲ得ザル所ノ答辯デアッタデアリマス、委員全體ハ各、ノ腦裡ニ於テ必ズヤ政府當局者ハ調査ノ結果、相當ノ改正ハ加ヘラレテ、少クモ政府ハ衆議院カラ年々出ル所ノ此改正案ノ意味ヲ酌ンデ改正ヲセラレルコトデアラウト云フコトヲ推測シテ、サウシテ之ヲ否決イタシタデアリマス、賢明ナル諸君ハ如何ニ御推測ニナリマスルカ、即チ賢明ナル諸君ノ矢張御見込ニ依ルコト、存ジマスカラ、私ハ敢テ之ヲ否決ノ議ハ確執モ致サヌデアリマス、何分唯今ノ委員會ノ經過ハ右様ナ有様デゴザイマシタカラ、御分リニナラヌ所ガゴザイマスナラバ政府委員ニ質問サレタ上デ賢明ナル諸君ノ御斷判ニ依ッテ相當ノ御判斷ヲ加ヘラレムコトヲ切望イタスデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス、本案ハ否決イタサレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十八、國有土地森林原野下戻申請期間ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告

國有土地森林原野下戻申請期間ニ關スル法律案

右否決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十四年三月九日

右特別委員長

伯爵松木宗隆

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵松木宗隆君演壇ニ登ル〕

○伯爵松木宗隆君 御報告申上ゲマス、本案モ前案ト同様ニ御承知ノ如ク年々衆議院ヨリ提出セラル、所ノ案デアリマスルガ、未ダ本院ヲ通過スルノ運ビニ至ラナイノデアリマス、當委員會ニ於キマシテモ審議ヲ重テタノデアリマシタガ、採決ノ結果、唯僅ニ一名ノ贊成者ガアッタノミデアリマシテ、多數ヲ以テ否決ニ相成リマシタコトゴザイマス、殊ニ唯今前案ニ付イテ委員長カラ御報告ノ中ニ、前案ハ否決ニナツテモ、前途稍、見込ガアルト云フ御報告デアリマシタガ、本案ハ之ト反對ニ、前途トテモ見込ナキ形勢デ、委員會ハ非常ナ反對デ否決ニ相成リマシタ次第ゴザイマス、依ッテ大要ヲ申上ゲタイト存ジマス、贊成論者ノ趣意トセラレマシタル點ハ、若シモ果シテ傳ヘラル、ガ如クニ、多クノ人民ガ山林ノ取上ゲニ遇ッテ今サラ是ガ下戻ヲ請求セムニモ何等頼ルベキ途ガ無イノデアッテ、下戻法案ニ……下戻法ノ期間ヲ經過シタル爲ニ、空シク怨ミヲ存シテ居ルト云フヤウナコトデアラナラバ、ソレハ甚ダ氣ノ毒ノ事デアアルシ、又遺憾ノ事ト思フカラ今一度本案ノ如ク期間ヲ更ニ開始シテ、四十四年十二月三十日マデニ期間ヲ改メテ開イテ、サウシテソレ等ノ者ヲ各、元ノ所有ニ還ラシメテ、ソレ等ノ人民ヲシテ其土地ニ安ンゼシメテ行クト云フコトガ謂ハユル善政デアラウシ、仁政ヲ施スト云フ點ニ於テモ、サウアリタク思ハル、カラ、本案ニ贊成ヲ表シテ置クト云フヤウ

ナコトデアリマシタ、併ナガラ多數ノ委員ノ御方ハ之ト反對ニ絶對ニ否決ヲセラレタ、其趣意、其論旨ハ若シモ假ニ本案ニ依ッテ更ニ下戻期間ガ開始セラレタト假定シテ見マシタナラバ如何ノ事ニ立至ルヤ、即チ少シバカリノ縁故ヲ辿ッテ、サウシテ己レノ所有デアッタト云フコトヲ主張スル者ガ續々トシテ出ヅルコトデアラウシ、又殊ニ此山林ニ關シテハ謂ハユル運動屋ナル者ガ續生スル次第デアアルカラシテ、旁、濫訴ノ弊害ハ想像スルニ餘リアルコト、信ズルノデアアル、若シ一旦斯ウ云フヤウニ再ビ申請ノ期間ヲ開クト云フヤウナコトヲシタナラバ、他日又同ジ理由、同ジ事情ノ下ニ、三たび此申請ノ期間ヲ又開カナケレバナラナイト云フヤウナコトニモ立チ至ルト云ハザルヲ得ナイノデアッテ、殆ド際限ノ無イコトデアアルカラ、斯ノ如ク前途想像ニ餘リアル所ノ、忌ムベキ濫訴ノ現象ヲ見ルノヲ願ミズ本案ヲ認メテ置クト云フコトハ、或ハ仁政ヲシテ却ッテ仁政ナラザル結果トナツテ又立案ノ本意ニ於テモ斯ノ如キ少數ノ者ヲ救ハムガ爲ニ、多數濫訴ノ弊害ヲ起スト云フコトハ、立法ノ上カラ認ムベカラザルコトデアアルカラ、本案ハ全然否決スルト云フコトデアリマシタ、而シテ政府委員ハ極力本案ニ反對サレタノデアリマス、其第一ハ決シテ唱ヘマスルガ如ク、多數ノ人民ガ山林ヲ取上ゲラレテ、不幸ノ境遇ニ陥ッテ居ルト云フコトハ、政府ハ誠實ニ考ヘテモ、サウハ認メラレナイノデアアル、何トナレバ唯單ニ三十二年ノ法律ノミヲ見タナラバ、即チ其法律ニ據レバ……其三十二年ノ四月十七日ノ法律ニ據ッテ、翌三十三年六月三十日、即チ一年ト二箇月ダケノ期間バカリカ與ヘテナイノデアリマスカラ、其法律バカリヲ見テハ、成ルホド期間ガ短カッタノデアアルカラ、甚ダ酷ナ事デアルト云フヤウニ見ラレマスケレドモ、併ナガラ政府ハ此法律以前、遠ク明治初年ノ改租當時カラ此下戻ノ手續ハ常ニ執リツ、アツテ、ソレハ誤謬訂正ト云フヤウナ名義デ十數年來、下戻法ト同ジ仕事ヲシツ、アッタノデアッテ、併ナガラ此年ニ至ッテ餘リ前途、斯ウ云フヤウナコトヲシテ居ッテハ實際ガ無イト云フノデ、此三十二年ニ法律第九十九號ヲ以テ、是カラ先キハ一年ト二箇月ノ期間トシタノデアリマスルカラ、ソレヲ通ジテ見レバ餘程長イ期間デアッテ、從ッテ此長イ期間ニ於テハ大概誤レルコトハ正サレテアルト信ズルノデアッテ、ソレニモ拘ラズ、或ハ多少申請漏ノ爲ニ不幸ノ者モ絶對ニ無イトハ言ハレヌケレドモ、併ナガラ先ヅ無イト見ルヨリ致シ方ガナイノデアッテ決シテ一般ニ唱ヘル如キ多數ノ者ガ不幸ノ境遇ニ沈淪シテ居ル

ト云フヤウナコトハ認メラレヌト云フコトデアリマシタ、而シテ尙ホ進ンデ政府ハ若シモ假ニ本案ガ通リマシタナラバ、其結果トシテ下戻サネバナラヌノガ多クアル故ニ政府ハ之ニ反對スルト云フ意味ハ無論有タナイノデアッテ、政府ハ無イトハ思フケレドモ、或ハ極ク僅少ナル部分ニサウ云フ誤リノアルモノガアルカモ知レヌト云フコトハ、認メルト云フ程デハナイケレドモ、理窟上サウ云フ漏レモ、期間ヲ限ッテ打切ッタル爲ニサウ云フ漏レモ理窟上、絶對ニ無イトハ言ハヌノデアルガ、決シテ本案ノ通過ニ依ッテ多クノ者ガ所有ヲ申請シ、ソレガ爲ニ政府ハ多クノ下戻ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ懸念ハ有ッテ居ラヌノデアアル、政府ノ憂フル所ハ其點ニアラズシテ、濫訴ヲ憂フルノデアアル、何トナレバ、濫訴ハ兎ニ角、申請ガ相當ナル形ヲ以テ申出ガアッタトスレバ暫クハ其山林ノ經營ニ多少ノ差支ヲ生ズルノデアルカラシテ、斯ウ云フ工合ニ濫訴ガ起ッテ各方面ノ山林ノ經營ニ諸所ニ障碍ヲ受ケルヤウナコトデアッタナラバ、今ヤ國有森林ノ特別經營ヲ立テ、前途永遠ノ畫策ヲシテ居ル計畫中ニ方ッテ斯ノ如キ障碍ガ出タナラバ根本ヲ誤ルコトノ憂ヒヲ懷カザルヲ得ナイノデアアルカラ、本案ハ屢々衆議院ニ於テ或ハ懇談ヲ以テシ、或ハ色々ノ話合ヒガ從前カラアルニ拘ラズ、政府ハ到底同意ヲ表スルコトガ出來ナイノデアアルト固ク主張サレタノデアリマシタ、ソレカラ此第二條ハ昨年ハ十圓ノ印紙トアリマシタガ當年ハ五十圓ト改マッテ居ルノデアリマス、提出者ノ意ハ五十圓ノ印紙ヲ用キルコトニシタナラバ多少濫訴ヲ防グコトガ出來ルデアラウト云フヤウナ意カラ出タト云フコトデアリマスルガ、併ナガラ御承知ノ如ク山林ノ如キハ或ハ數千圓、或ハ數萬圓ニ上ボル事件デアリマスカラ、五十圓クラキノ印紙ヲ以テ訴ヲ見合ハセ若クハ抑ヘテ行クト云フ效力ハ無カラウト云フ考ヘデ、委員會ハサウ思ウタノデアリマス、尙ホ終リニ御參考マデニ數字ヲ申上ゲテ置キマスルコトハ、下戻法ニ據リマシテ申請シタル件數ガ二万ト六百七十五件デ、此面積ハ二百七方町歩アルサウデ、其中農商務省デ許可ニナッタモノガ千三百三十二件、此面積三十万町歩、而シテ行政訴訟ニカ、ッタモノガ千九百件アリマシテ、此中昨年十二月末日マデノ調べデハ千六百三十件ハ既ニ判決決定ヲ得タノデアッテ、其中農商務省ノ勝訴ニナッタモノガ千三百三十八件、原告ノ勝訴ニナッタモノガ三百二十九件、棄却ニナッタモノガ二十一件、取下ニナッタモノガ百四十七件、未ダ決定ニ至ラザルモノガ三百九十件アルサウデアリマス、年年本案ハ出ルコトデ

アリマスカラ御參考ノ爲ニ數字ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマシタ、大略右ノヤウナ次第デゴザイマシテ、委員會ハ否決ニ相成リマシタコトデゴザイマス、此段御報告申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ發言者モ無イト認メマスカラ採決イタシマス、本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵徳川家達君) 起立者ハ無イト認メマス、本案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス、會期モ追々切迫イタシマスカラ、指名セラレマシタ諸君ハ成ルベク速ニ正副委員長ノ選舉ヲ行ハレテ議長ニ御申出ヲ請ヒマス

〔東久世書記官朗讀〕

鐵道又ハ船舶カ外國ノ鐵道又ハ船舶ト貨物ノ聯絡運輸ヲ爲ス場合ニ關スル法律案特別委員

子爵加納 久宜君 子爵本莊 壽巨君 子爵本多 忠敬君

男爵赤松 則良君 田邊 輝實君 男爵佐野 延勝君

男爵千秋 季隆君 兒玉 淳一郎君 廣海 二三郎君

明治四十二年豫備金支出ノ件外四件(承諾ヲ求ムル件)特別委員

伯爵萬里小路通房君 子爵山口 弘達君 子爵高野 宗順君

小野田 元 熙君 男爵伊瀨知 好成君 男爵辻 健 介君

男爵徳 川 厚君 兒玉 利國君 市川 文藏君

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案外二件特別委員

侯爵花山院 親家君 伯爵中川 久任君 小牧 昌業君

折田 彦市君 男爵河邊 博長君 男爵二條 正麿君

平山 靖彦君 木場 貞長君 加藤 宇兵衛君

帝國學士院學術獎勵金特別會計法案特別委員

伯爵清棲 家教君 子爵板倉 勝達君 男爵辻 新 次君

男爵菊池 大麓君 男爵石 黑 忠 惠君 男爵若王子 文健君

男爵淺野 守夫君 澤 柳 政太郎君 下郷 傳平君

會計檢査院法中改正法律案特別委員

伯爵柳原 義光君 子爵渡邊 昇君 男爵北島 治房君

子爵青木 信光君 男爵藤大路 親春君 中島 永元君

湯地 定基君 馬屋原 二郎君 田島竹之助君

朝鮮總督府鐵道及通信官署ニ於テ取扱フ現金ノ出納ニ關スル法律案外二件

特別委員

伯爵清閑寺 經房君 子爵唐橋 在正君 子爵井伊 直安君

男爵四條 隆平君 黑岡 帶刀君 男爵安場 末喜君

石井省一郎君 谷森 眞男君 橋本 雄造君

日本勸業銀行法中改正法律案外三件特別委員

伯爵吉井 幸藏君 子爵牧野 忠篤君 男爵新田 忠純君

男爵吉川 重吉君 富田 鐵之助君 鮫島 武之助君

富井 政章君 室田 義文君 伊藤 長次郎君

水道條例中改正法律案特別委員

伯爵大木 遠吉君 子爵松平 康民君 男爵小野 尊光君

男爵山内 豐政君 男爵清水 資治君 山田 春三君

安立 綱之君 小野 光景君 久保市三郎君

刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案特別委員

公爵二條 基弘君 子爵酒井 忠亮君 男爵岡内 重俊君

男爵原口 兼濟君 男爵藤枝 雅之君 奥山 政敬君

加太 邦憲君 岩村 兼善君 山田 義三郎君

○議長(公爵德川家達君) 明後十三日ノ議事日程ハ決定次第御通知シマス、

本日ハ是デ散會

午後零時三十二分散會